



今、3年生の大学進学希望者は年内入試（総合型・学校推薦型選抜）の真っ最中です。受験が終わって結果を待つ人、これからの試験に向けて面接などの準備をする人、それぞれがんばっています。就職希望者に関しては内定通知をいただいた人も多く、来年4月の入社に向けてさまざまな手続きや研修に取り組んでいます。

2年生や1年生も進路に関する情報を適宜チェックしながら、卒業後の自分について考えてみて下さい。

進学編

2026 大学入試傾向【全国版】



【国公立大学】

2025年度の国公立大の一般選抜の総志願者数は前年度より5,241名増の428,501名だった。募集人員は国立大、公立大共に減らしているため、志願倍率はともに上昇した。国公立大では、高大接続改革を受けて多様な観点からの選抜試験の導入を進めており、総合型選抜を実施する国公立大は、105大学349学部から125大学472学部へと拡大、学校推薦型選抜も173大学503学部から173大学516学部へとわずかながら増加した。総合型・学校推薦型の募集人員は国立大が20,501名、公立大が11,272名で、いずれも前年度より増加している。ただし、学校推薦型はとにかく総合型は通常の受験対策とは別の入念な出願準備が必要になることを十分理解し、対策を心がけていきたい。

【私立大学】

2025年度の私大の志願者数は前年度比107%を記録した。18歳人口の増加率を大きく上回る好調な出願状況で、出願する大学を増やす、あるいは同一大学の複数の入試方式に出願する、併願する学部・学科を増やすといった形で出願数が増加したことが影響したと考えられる。各大学とも併願する際の検定料を割り引いたり、多彩な入試方式を導入したりしている。私大全体ではすでに入学者の約6割が年内入試（総合型・学校推薦型）の合格者であり、私大入試では年内入試も無視できない状況になっている。ただ、注意してほしいのは簡単に合格できるわけではないということである。受験生としてはあくまで合格基準をクリアできるだけの学力を高めてほしい。

【学部系統別】

2025年度入試では、私大を中心に人文・社会科学系統の伸びが見られた。とりわけ法学部や経済・経営・商学部などに志願者が集まった。理工系では理学部が人気であった。医学・看護は横ばいで、薬学は募集を停止する大学があるなど人気が低迷した。また、情報系の人気も落ち着きを見せた。

【英語外部試験への対応】

4技能を評価する英語外部試験利用入試は広がりを見せており、2025年度入試においても国公立28大学、私立302大学の計330大学が一般選抜で英語外部試験を利用した。24年度は270大学だったことを考えると大幅な増加といえる。今年度以降もこの流れは止まらないだろう。数ある英語外部試験の中で圧倒的に採用率が高いのは英検で、ほとんどの大学が採用しているといっている。志望校の募集要項等で利用可能かどうか確認しておくことが必要だ。試験の種類だけでなく、取得スコアの有効期間や、活用方法についてもチェックしておこう。

活用方法は大きく3種類。まずは、基準スコアを設定して①「出願資格」とするタイプ。次に、取得したスコアを英語の個別試験の得点に②「換算」するタイプ。最後は、取得スコアに応じて英語の個別試験の得点に③「加点」するタイプ。自分のスコアに応じて、合格可能性を高められる出願を検討したい。

就職編

企業の方々に聞いてみました！「在学中に身につけておいてほしいこと」

[多数回答]

コミュニケーション能力 挨拶がきちんとできる

体調管理の習慣 協調性 社会性

身だしなみなどのマナー 一般常識

基礎学力(漢字・四則計算)



[他の回答]

主体的な行動力 勉強以外の活動に励む(部活動、ボランティア、アルバイトなど)

報連相の習慣(報告・連絡・相談) 敬語 時間を守る 向上心 積極性

自動車免許の取得(誕生日の関係で無理な場合を除いて) 質問力 責任感

TPOをわきまえた格好や行動 スマートフォンやタブレットのアプリが使えること